

2023年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL https://jp.asteria.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 定時株主総会開催予定日 2023年6月24日 配当支払開始予定日 2023年6月9日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,378	13.8	△2,579	—	△2,347	—	△1,874	—	△1,683	—	△1,302	—
2022年3月期	2,968	10.4	3,445	320.3	3,984	288.5	2,869	247.4	2,510	210.9	3,288	249.3

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△100.20	△100.20	△21.7	△20.2	△76.3
2022年3月期	152.43	152.43	36.1	38.9	116.1

(注) 基本的及び希薄化後1株当たり当期利益については、親会社の所有者に帰属する当期利益の数値を基に算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	10,618	7,629	7,134	67.2	424.74
2022年3月期	12,595	8,981	8,357	66.3	497.64

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	235	△67	△266	1,744
2022年3月期	58	△499	△225	1,816

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50	76	3.0	1.1
2023年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50	76	—	1.0
2024年3月期(予想)	—	2.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2024年3月期の第2四半期配当(中間配当)につきましては、創立25周年を記念して記念配当を予想いたします。期末配当につきましては、現時点で未定とさせていただきます。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	33.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 連結業績予想に関する情報は、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	17,491,265株	2022年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2023年3月期	695,942株	2022年3月期	699,092株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	16,793,704株	2022年3月期	16,469,359株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2023年5月15日（月） 18：00～

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書	7
(3) 連結包括利益計算書	8
(4) 連結持分変動計算書	9
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	12
4. その他	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年4月～2023年3月)における当社グループの業績は、売上収益については前期比で13.8%増の3,378,113千円となりました。事業別には、ソフトウェア事業の好調が続き前期比9.4%増、デザイン事業においては前期比39.8%増と大きく伸ばいたしました。

利益については、企業投資事業において、上場した投資先Gorilla Technology Group社の株価下落により、2,112,871千円の未実現評価損失を計上したほか、子会社This Place Limitedに関するのれん減損損失449,888千円の計上により、営業損失2,578,839千円、税引前損失2,346,642千円、親会社の所有者に帰属する当期損失1,682,810千円となりました。

《当社グループの取り組み》

今後、当社グループにおいては、デジタル化は不可逆であると考えており、数年間にわたって大きく成長すると考えられる「D4G」(Data, Device, Decentralized, Design for Green)領域への事業展開及び戦略的投資を継続します。

また、当社ソフトウェア製品から培ってきた強みである「ノーコード」関連領域の取組みを強化します。2022年4月ノーコードに特化したリスティングポータルサイト「NoCode Gate(ノーコードゲート)」開設に続き、同年9月ノーコードによるソフトウェア文化の変革を目的とした「ノーコード推進協会」を発起人企業の一社として設立しました。普及啓発活動を通じて、企業や社会の生産性向上に寄与するDXを推進してまいります。

また、国内を中心にサテライトオフィスを充実させるなかでオフィスのあり方を再定義し、社員が自律的に選択するマルチワークプレイスによる新しい働き方を推進しています。本年7月には長野県軽井沢町に新たなオフィスの開設も予定するなど、環境整備を進めています。

当連結会計年度における連結業績は以下の通りです。

区分	前連結会計年度	当連結会計年度	増減率
売上収益	2,967,587千円	3,378,113千円	13.8%
営業利益又は営業損失(△)	3,445,255千円	△2,578,839千円	－%
税引前利益又は税引前損失(△)	3,984,392千円	△2,346,642千円	－%
親会社の所有者に帰属する当期利益又は親会社の所有者に帰属する当期損失(△)	2,510,411千円	△1,682,810千円	－%

《当社の報告セグメント》

当社の報告セグメントは、当社の経営資源の配分の決定及び業績の評価を行うための区分を基礎とし、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。「ソフトウェア事業セグメント」は、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と、2017年に買収したThis Place社にて提供する「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。「投資事業セグメント」は、2019年に開始したAsteria Vision Fundで実施する企業投資事業で構成されます。

《ソフトウェア事業セグメント》

ソフトウェア事業セグメントは2つの事業で構成され、それぞれの売上収益の状況は以下の通りです。

<ソフトウェア事業>

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
売上収益	2,531,926千円	2,769,170千円	109.4%

データ連携ツール「Warp」は、インボイス制度などの法規制の改正への対応や、幅広い業界で業務効率の改善に向けたDXが推進される中、ノーコードによるデータ連携ニーズの拡大基調が引き続き継続しています。さらに国内主要クラウドサービスとの協業によるプロモーション活動を展開した結果、前期比約11%の増収となりました。2022年12月には「IIJクラウドデータプラットフォームサービス」のデータ連携基盤としてWarpが採用され、新たなビジネス領域となるiPaaS市場への参入も果たしました。

AI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」はAIやIoTを活用したシステムをノーコードで構築できることから、オフィス回帰に伴うワークプレイスのスマート化などのニーズが拡大しています。また、水際対策緩和によって訪日外国人観光客（インバウンド）数が増加する中で宿泊施設の人手不足を解消するツールとしてGravioの引き合いが急増しています。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、「物流の2024年問題」などの残業規制導入に向けた業務効率化や、業務のデジタル化（アプリ化）等のDXニーズの高まりを受け、アプリの内製化を実現するノーコードツールとして幅広い業界で導入が進んでいます。2022年1月には、アプリ作成から多様なシステムとのデータ連携まで可能な新ラインアップ「Platio Connect」を投入し、販売パートナーとの積極的な販促活動も展開した結果、前期比約60%の増収となりました。

商談支援アプリ「Handbook X」は、導入の手軽さや多様なコンテンツへのアクセスのしやすさなどが評価され、無償ダウンロード数が15万件を突破するなど、従来製品Handbookの展開フィールドを超えて新たなマーケット開拓を推し進めています。

<デザイン事業>

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
売上収益	435,661千円	608,943千円	139.8%

デザイン事業は、主に英国・米国において、顧客企業のDX戦略の策定・実行支援のほか、カスタマーエクスペリエンス（顧客体験）向上のためのコンサルティングを提供しており、日本での事業も開始しています。

当連結会計年度は、英国・米国の既存顧客からの継続受注のほか、米国大手IT企業、国際組織および日本の小売企業等の新規顧客を獲得したことにより、前期比で増収となりました。

《投資事業セグメント》

投資事業セグメントは、2019年に開始したAsteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じた企業投資事業です。当社のソフトウェア事業と同じ「D4G」領域への投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期比
評価額の増減（△は減少）	4,014,542千円	△2,033,464千円	-%

主として、AI開発のGorilla Technology Group社の評価額が減少しました。

※「評価額の増減（△は減少）」は、連結損益計算書の「（その他の収益）又は（その他の費用）」に含まれております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、10,617,862千円となり、前連結会計年度末に比べ1,976,856千円減少しました。この主な要因は、その他の金融資産1,478,177千円及びのれん449,860千円の減少によるものです。

(負債)

負債合計は2,989,136千円となり、前連結会計年度末に比べ624,221千円減少しました。この主な要因は、繰延税金負債391,303千円、営業債務及びその他の債務248,422千円の減少によるものです。

(資本)

資本合計は7,628,727千円となり、前連結会計年度末に比べ1,352,635千円減少しました。この主な要因は、その他の資本の構成要素433,772千円の増加、利益剰余金1,681,405千円及び非支配持分129,796千円の減少によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より72,464千円減少し、1,743,642千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は234,825千円（前期58,041千円の獲得）となりました。主に税引前当期損失2,346,642千円減少に対し、その他の費用2,033,749千円（主に投資にかかる未実現損失）の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は67,313千円（前期498,690千円の使用）となりました。主に投資の売却・償還による収入455,100千円及び貸付金の回収による収入431,590千円に対し、貸付金の支出402,660千円及び有形固定資産の取得による支出391,787千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は265,518千円（前期224,968千円の使用）となりました。主に長期借入金の返済による支出142,800千円及び配当金の支払75,538千円によるものです。

(4) 今後の見通し

売上収益につきましては、中期経営計画の第1年度、第2年度の先行投資の結果としてソフトウェア事業の大きな伸張を見込んでおります。また、米国での新規IT企業顧客獲得見込みのためデザイン事業の大きな伸張を見込んでおります。

利益につきましては、AVF-1の出資先であるGorilla Technology社が昨年米国NASDAQへ上場したことに伴い、当社が保有する同社株式は会計期間末における市場価格を公正価値として測定され、当該市場価格を精緻に予測することは困難であることから、業績予想の公表を控えております。合理的な算定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、「組織を超えたコンピューティングを実現するソフトウェアを開発し世界規模で提供する」をビジョンに掲げ、「ASTERIA Warp」、「Handbook」の主力製品を提供しております。当社グループのビジョンに掲げております「世界規模」で活動を行う上で、グローバルでの会計処理の統一、国際的な比較可能性を向上させ、ステークホルダーの皆様の利便性を高めることを目的として、2016年3月期有価証券報告書より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,816,106	1,743,642
営業債権及びその他の債権	391,602	182,641
棚卸資産	4,211	4,348
その他の金融資産	375,804	410,012
その他の流動資産	234,898	91,470
流動資産合計	2,822,621	2,432,114
非流動資産		
有形固定資産	503,157	812,927
のれん	449,860	—
無形資産	94,117	151,030
持分法で会計処理されている投資	352,009	348,850
その他の金融資産	8,217,730	6,705,345
その他の非流動資産	155,224	167,597
非流動資産合計	9,772,098	8,185,748
資産合計	12,594,718	10,617,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	530,308	281,886
未払法人所得税等	—	75,126
その他の金融負債	43,510	53,860
その他の流動負債	656,093	771,037
流動負債合計	1,472,711	1,424,709
非流動負債		
引当金	9,341	9,367
借入金	500,200	357,400
繰延税金負債	1,240,632	849,329
その他の金融負債	385,824	343,198
その他の非流動負債	4,648	5,133
非流動負債合計	2,140,646	1,564,427
負債合計	3,613,357	2,989,136
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,457,037	2,481,831
自己株式	△538,012	△538,012
その他の資本の構成要素	258,934	692,706
利益剰余金	3,903,237	2,221,831
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,356,539	7,133,700
非支配持分	624,823	495,027
資本合計	8,981,362	7,628,727
負債及び資本合計	12,594,718	10,617,862

(2) 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上収益	2,967,587	3,378,113
売上原価	473,513	604,683
売上総利益	2,494,074	2,773,430
販売費及び一般管理費	2,496,052	2,854,181
その他の収益	4,057,696	10,434
その他の費用	610,463	2,508,523
営業利益又は営業損失(△)	3,445,255	△2,578,839
金融収益	553,121	303,445
金融費用	11,256	76,675
持分法による投資損益(△損失)	△2,728	5,427
税引前利益又は税引前損失(△)	3,984,392	△2,346,642
法人所得税費用	1,114,984	△472,728
当期利益又は当期損失(△)	2,869,408	△1,873,915
当期利益の帰属		
親会社の所有者	2,510,411	△1,682,810
非支配持分	358,996	△191,105
当期利益又は当期損失(△)	2,869,408	△1,873,915
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益又は基本的1株当たり 当期損失(△)(円)	152.43	△100.20
希薄化後1株当たり当期利益又は希薄化後1株当 たり当期損失(△)(円)	152.43	△100.20

(3) 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期利益又は当期損失 (△)	2,869,408	△1,873,915
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	82,367	208,321
純損益に振り替えられることのない項目合計	82,367	208,321
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	336,569	363,797
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	336,569	363,797
その他の包括利益合計	418,936	572,119
当期包括利益	3,288,344	△1,301,796
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,888,926	△1,172,000
非支配持分	399,418	△129,796
当期包括利益	3,288,344	△1,301,796

(4) 連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2021年4月1日時点の残高	2,275,343	2,452,226	△532,437	119,415	△257,634	△138,219
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	296,148	82,367	378,515
当期包括利益合計	—	—	—	296,148	82,367	378,515
自己株式の取得	—	—	△4,971	—	—	—
自己株式の処分	—	162	△604	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	4,650	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△643	19,281	18,639
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	4,811	△5,575	△643	19,281	18,639
2022年3月31日時点の残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,921	△155,986	258,934
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	302,488	208,321	510,809
当期包括利益合計	—	—	—	302,488	208,321	510,809
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	24,794	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△77,038	△77,038
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	24,794	—	—	△77,038	△77,038
2023年3月31日時点の残高	2,275,343	2,481,831	△538,012	717,409	△24,703	692,706

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円		
2021年4月1日時点の残高	1,486,814	5,543,727	177,559	5,721,286
当期利益	2,510,411	2,510,411	358,996	2,869,408
その他の包括利益	—	378,515	40,422	418,936
当期包括利益合計	2,510,411	2,888,926	399,418	3,288,344
自己株式の取得	—	△4,971	—	△4,971
自己株式の処分	—	△442	—	△442
配当金	△75,639	△75,639	—	△75,639
株式に基づく報酬取引	—	4,650	—	4,650
非支配持分との取引	—	—	47,845	47,845
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△18,639	—	—	—
その他	290	290	—	290
所有者との取引額合計	△93,988	△76,113	47,845	△28,268
2022年3月31日時点の残高	3,903,237	8,356,539	624,823	8,981,362
当期利益	△1,682,810	△1,682,810	△191,105	△1,873,915
その他の包括利益	—	510,809	61,309	572,119
当期包括利益合計	△1,682,810	△1,172,000	△129,796	△1,301,796
自己株式の取得	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
株式に基づく報酬取引	—	24,794	—	24,794
非支配持分との取引	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	77,038	—	—	—
その他	—	—	—	—
所有者との取引額合計	1,404	△50,839	—	△50,839
2023年3月31日時点の残高	2,221,831	7,133,700	495,027	7,628,727

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益又は税引前損失 (△)	3,984,392	△2,346,642
減価償却費及び償却費	161,835	141,193
金融収益	△553,121	△303,445
金融費用	11,256	76,675
減損損失	603,899	474,774
持分法による投資損益 (△は益)	2,728	△5,427
その他の収益	△4,057,696	△10,434
その他の費用	6,564	2,033,749
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△119,931	208,962
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	204,222	△248,194
その他	△38,223	122,079
小計	205,925	143,290
利息及び配当金の受取額	15,469	45,787
利息の支払額	△6,266	△6,785
法人所得税の支払額	△157,087	52,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,041	234,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,626	△391,787
有形固定資産の売却による収入	108	203
無形資産の取得による支出	△806	△718
貸付けによる支出	△333,390	△402,660
投資の取得による支出	△550,830	△144,916
関連会社の売却による収入	33,667	—
貸付金の回収による収入	—	431,590
投資の売却及び償還による収入	400,063	455,100
その他	15,122	△14,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△498,690	△67,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△142,800	△142,800
配当金の支払額	△75,332	△75,538
非支配持分からの払込による収入	45,377	2,709
リース負債の返済による支出	△52,213	△53,594
新株予約権の発行による収入	—	3,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,968	△265,518
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△665,617	△98,006
現金及び現金同等物の期首残高	2,451,427	1,816,106
現金及び現金同等物の為替変動による影響	30,295	25,542
現金及び現金同等物の期末残高	1,816,106	1,743,642

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当企業グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ソフトウェア事業」および「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されております。

「ソフトウェア事業」には、当社が創業来拡大している企業向けの「ソフトウェア事業」と「デザイン事業」の2つの事業で構成されます。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc. が管理する投資で構成されております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円	千円	千円
売上収益					
外部収益	2,967,587	-	2,967,587	-	2,967,587
セグメント間収益	67	26,980	27,048	△27,048	-
合計	2,967,654	26,980	2,994,634	△27,048	2,967,587
セグメント利益(注2)	42,784	3,969,655	4,012,439	125	4,012,564
その他の収益及び費用(注2)					△567,310
金融収益					553,121
金融費用					11,256
持分法による投資損益(△損失)					△2,728
税引前利益					3,984,392
その他の項目					
減価償却費及び償却費	161,478	356	161,835	-	161,835
減損損失	603,899	-	603,899	-	603,899

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引取消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	3,378,113	-	3,378,113	-	3,378,113
セグメント間収益	81	-	81	△81	-
合計	3,378,194	-	3,378,194	△81	3,378,113
セグメント利益(注2)	△21,122	△2,093,011	△2,114,133	△81	△2,114,215
その他の収益及び費用(注2)					△464,624
金融収益					303,445
金融費用					76,675
持分法による投資損益(△損失)					5,427
税引前利益					△2,346,642
その他の項目					
減価償却費及び償却費	140,948	245	141,193	-	141,193
減損損失	474,774	-	474,774	-	474,774

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引取消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(1株当たり利益)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益又は 親会社の普通株主に帰属する当期損失(△) (千円)	2,510,411	△1,682,810
当期利益調整額		
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益又は希薄化後1株当たり当期利益の計 算に使用する当期損失(△) (千円)	2,510,411	△1,682,810
期中平均普通株式数(株)	16,469,359	16,793,704
普通株式増加数(株)	-	-
新株予約権(株)	-	-
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	16,469,359	16,793,704
基本的1株当たり当期利益又は基本的1株当 たり当期損失(△) (円)	152.43	△100.20
希薄化後1株当たり当期利益又は希薄化後1株 当たり当期損失(△) (円)	152.43	△100.20

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。